



↑茶や谷集落の虫送りの様子

茶や谷集落の虫送り

■ 虫送りとは ...

「虫送り」という行事を皆さんご存知でしょうか。虫送りとは、農作物につく害虫を追い払い、五穀豊穡・無病息災を祈願する行事で、初夏、田植えも終わり、農作業が一段落した頃に行われます。平安末期、平家の武将齊藤実盛が、馬が稲株につまづき転倒したところを敵将に討たれ、死の原因となった稲を祟り稲を喰い荒らす害虫となったという言い伝えから、その実盛の供養と豊作祈願を目的に始まったとされ、そのため西日本には虫送りのことを「実盛送り」と呼ぶ地域もあるそうです。かつては日本各地で行われていたようですが、農薬の普及や農業従事者の減少、高齢化などの原因が重なり、最近ではあまり見られなくなりました。今回は、そんな虫送りが現在も続く、梶原町四万川地区は茶や谷集落の虫送りについて、ご紹介します。

■ 茶や谷の虫送り

四万川地区は梶原町の北部に位置し

ており、坂本龍馬が土佐を脱藩する際に通ったとされる葦ヶ峠があります。「四万川」という字面からピンと来る方もいらっしゃると思いますが、この四万川が四万十川の名前の由来になっているとの説があり、四万川周辺にあった四万川村から下流の十川村へ流れるから四万十川としたのではないかとも言われています。(四万十川の名前の由来は諸説あります。)

虫送りが行われるのは大祓い前日の6月29日。夜19時、まだ薄明るいなかから始まり、隣集落の境から下集落の境まで、列の先頭と最後尾に旗(竹の先端にお札を吊るしたもの)を持つ人を配し、松明を灯しながら、30人ほどがおおよそ2kmの距離を歩きます。鐘や太鼓を鳴らしながら、下集落との境まで来ると、そこで松明を集めて燃やし、お寺から配布されるお札を家に持ち帰り、その年の五穀豊穡、無病息災を祈ります。静かな山里に鐘や太鼓の音が響き、薄暗いなか松明を灯して進む

光景は神秘的で、遠方から多くのカメラマンが訪れるそう。近年では、地域住民のみならず他所からの参加者も見られるなど、今は珍しくなった虫送りに興味をもつ人が増えてきたと言います。貴重な風習が今に残る茶や谷の虫送りですが、火薬取締法が施行される60年前までは、鉄砲を上空に撃ちあげながら進んでいたそうで、隣集落の銃声を合図に虫送りを始めていたと言います。また、翌30日の大祓いは農休みとなっていたため、昔は虫送りが終わった後、各家庭でしばもち(柏餅)や饅頭などのご馳走を用意してお祝いするという風習もあったそうです。

■ 文化継承の誇りを胸に

かつては50戸近くあった家も、過疎高齢化の波に押され今では20戸ほどに。昔に比べて賑わいは減ったそうですが、虫送りだけでなく、茶堂でのお接待や二十日念仏など今もなお古き良き風習が多く残っている茶や谷地区。今回お話を伺った中

岡さんも、「茶や谷は昔っから古い文化を大事にしてきた」と誇らしげに話してくれました。四万川地区では、茶や谷集落の他、隣の本も谷（おもだに）集落、最近では、六丁（ろくちょう）集落でも虫送りが復活し、現在3つの集落で虫送りが行われています。日本各地で過疎高齢化が進み、昔からの仕来りや風習を守っていくことが困難になってきている現代。簡単なことではありませんが、先人達から受け継いできた文化を絶やすまいと励む四万川地区の姿勢は、見習うべきだなと思います。



← 栲原の中心地から車で約15分のところにある茶や谷集落。棚田や茶堂など、農村の美しい景色が残っています。

虫送りはここから約1km → 奥からスタートします。この茶堂では8月1日から地域住民が交代でお接待を、8月20日には二十日念仏が行われます。



10連休の四万十



平成から令和と元号をまたぎ、長期の10連休となった今年のゴールデンウィーク、読者の皆さんはいかがお過ごしでしたか。前半はお天気がぐずついたものの、後半は晴れの日が続いた四万十では、沈下橋やキャンプ場など各地でレジャーを楽しむ観光客の姿が多くみられました。なかでもカヌー体験施設は大人気で、今回連休中にお邪魔した施設では、1回に80人ほどのお客さんがカヌーを体験するなど大賑わい。ただ施設側のほうは「さすがに10連休は長い…」と大変そうでしたが、新しい時代のいいスタートを切れたのではないのでしょうか。これからだんだん夏が近づくにつれ、川のレジャーを楽しまれる方も多くなりますが、川で遊ぶ際は、必ずライフジャケットの着用を忘れないでくださいね。

イベント情報

■ 北斗の拳フィギュア列伝

3月9日（土）から始まった海洋堂ホビー館四万十と北斗の拳がコラボした企画、「北斗の拳フィギュア列伝」が6月3日（月）でいよいよ最終日を迎えます。四万十町役場西庁舎に等身大のラオウ像が展示されるなど、四万十町内は北斗の拳一色。期間中はシールラリー「春の四万十周遊百裂拳!!」が開催されるなど、楽しい要素が盛りだくさん！残りわずかとなりましたが、北斗の拳ワールド全開の四万十町をぜひ楽しんでください。



- 【開催日】2019年3月9日（土）～6月3日（月）
- 【時間】10：00～18：00（最終入館は17：30まで）
- 【場所】海洋堂ホビー館四万十
- 【入館料】高校生以上 800円 中学生以下 400円
※小学生以下は無料

イベントの詳細は四万十町観光協会特設ページ
(<http://shimanto-town.net/hokuto/>) をご確認ください。